

## 医療メモ 本庄市児玉郡医師会広報部「熱性けいれんの予防」

最近、“熱性けいれんを起こしたので、予防薬をください”という方が目立つような感があります。確かに、こどもが目の前でけいれんを起こしていると、心配で、不安でたまらないと思います。できれば予防をしたいという気持ちはよく分かります。

現在、主に使用されているジアゼパム（商品名：ダイアップ）坐剤の有効性は証明されていますが、同時に、副作用もあります。呼吸抑制などの重篤な副作用は非常に少ないのですが、ふらついたり、ぐったりしたり、いらいらしたりが20～30%に、言語障害、抑うつ、睡眠障害などが5%に認められ、2.2%で投与が中止されています。

日本小児神経学会では、昨年、熱性けいれん診療ガイドライン2015を発表しています。予防投与の適用基準は次のようになっています。

### 適用基準

次の①又は②を満たす場合に予防投薬します。

- ①15分以上の長い発作
- ②次の i～vi のうち2つ以上をみたした熱性けいれんが2回以上繰り返したとき
  - i けいれんが片側だったり、24時間以内に繰り返した

- ii 神経学的な異常や発達遅延が、熱性けいれんの出現前よりある
- iii 家族の人に、熱性けいれんやてんかんがある
- iv 12か月未満
- v 発熱後1時間未満での発作
- vi 38℃未満での発作

この適用基準はあくまでも、発作の予防であって、てんかんの発症予防や発達予後の改善ではありません。

ところで、単純型熱性けいれん、先の適用基準を満たさないいわゆる、“たちのよい”けいれんでは、発作を繰り返しても、認知・学習能力、知的能力に影響は出ていません。ご安心を。また、単純型熱性けいれんでは、誤嚥などによる死亡例の報告はありません。本当にご安心を。さらに、無治療でも、けいれんの再発率は20～40%で、半分以上の人は再発していません。したがって、単純型熱性けいれんでは、ジアゼパムの投与は、発作の再発をへらしますが、副反応出現のデメリットのほうが大きいかもしれません。

一方、複雑型熱性けいれん（適応基準を満たすものとほぼ同意義）で、遅延性では、致命的になりますので、より厳密な予防が必要となってきます。

## 休日・夜間の急病のときは… 本庄市保健センター ☎2003

- 本庄市児玉郡医師会立本庄市休日急患診療所（日曜・休日開設）  
（本庄市保健センター内 ☎203322）

診療時間 午前9時～正午、午後1時～4時、  
午後7時～10時

診療科目 内科系疾患

※健康保険証を持参してください。診療に関すること以外のお問い合わせ・電話相談はご遠慮ください。右記の電話相談をご利用ください。

- 在宅当番医療機関

診療は午前中のみです。当番医は変更になる場合もありますので、確認してからお出かけください。

6月4日(日)	恵南クリニック	見福2丁目	☎20008
6月11日(日)	したら眼科クリニック	上里町金久保	☎38333
6月18日(日)	本庄皮膚科医院	銀座3丁目	☎23233
6月25日(日)	児玉清水クリニック	児玉町児玉	☎7543
7月2日(日)	鈴木外科医院	児玉町八幡山	☎1235

★119番は緊急時（火災やけが人など）の受付専門電話番号です。夜間など、時間外に診療可能な病院については、**児玉都市広域消防本部指令課（☎1119）**でご案内していますのでご利用ください。ただし、診療科目によっては県外や児玉都市以外の病院をご案内する場合があります。

感染症の流行を防ぐために

## 予防接種を受けましょう

本庄市保健センター ☎2003

病気にかからないように、また、重症にならないように、まだ接種していないお子さんは、予防接種を受けましょう。

※接種期間を過ぎて接種した場合は、全額自己負担になります。

※予診票がお手元ない場合は、母子健康手帳をご持参のうえ、本庄市保健センター又は市民福祉課（アスパアこだま）の窓口へお越しください。

### ①二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種

予診票は、市内の市立小学校を通じて6年生に配布していますのでご確認ください。

対象 11歳以上13歳未満

接種期間 11歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

費用 無料

### ②麻しん・風しん（MR）予防接種

麻しん・風しんの1期は生後12月から24月に至るまでに1回接種し、2期は小学校就学前の1年間に1回接種します。

※平成29年度の2期について

対象 平成23年4月2日～平成24年4月1日生まれの人

接種期間 平成30年3月31日(出)まで

費用 無料

### ③日本脳炎予防接種の特例

一時見合わせていましたが、平成22年度以降は新しいワクチンの接種を再開しています。

次の期間に生まれた人は特例の対象となります。現在までの接種回数を確認し、不足回数を接種してください。

○平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの人  
20歳の誕生日の前日まで接種することができます。

接種回数

- ・1期 3回接種

- ・2期 9歳以上で1回接種

※1期の接種後、おおむね5年の間隔を空けて接種してください。

接種期間 20歳の誕生日の前日まで

費用 無料

○平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの人  
第1期の接種が7歳6か月までに3回完了していない人は9歳以上13歳未満の間に不足した第1期（最大3回）を接種することができます。

接種期間 9歳の誕生日の前日から13歳の誕生日の前日まで

費用 無料

※市内の市立小学校の4年生（平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ）の人には、学校を通じて日本脳炎2期の予診票を配布しています。

### ④子宮頸がん予防ワクチン

現在、接種の積極的な勧奨を一時的に差し控えています。

ただし、定期接種自体は中止しないため、希望者は継続して受けることができます。接種を希望する人は、有効性及び副反応等について十分に理解したうえで、接種を受けてください。

6月26日以降は、本庄市北堀の保健センターで受け付けます。  
※詳しくはP2をご覧ください。

## 埼玉県後期高齢者医療健康長寿歯科健診

埼玉県後期高齢者医療広域連合では、前年度75歳になられた後期高齢者被保険者を対象に、歯科健康診査を実施します。お口の健康は全身の健康につながります。疾病予防、健康の維持増進のためにぜひ受診してください。

※詳細は、埼玉県歯科医師会、後期高齢者医療広域

連合から6月中旬に届くご案内をご覧ください。

●対象 昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生まれの人で、後期高齢者医療被保険者証をお持ちの人

●受付期間 7月1日(土)～平成30年1月31日(水)

★埼玉県後期高齢者医療広域連合給付課

☎048-833-3130